

メディアプロセッサ

ET-FMP50シリーズ

※本シリーズはET-FMP50/FMP20/SBFMP10の3モデル構成です。

迫力のイマーシブ演出を
スムーズに実現できる
マルチプロジェクション用
メディアプロセッサ



ET-FMP50/FMP20

ET-SBFMP10

FMP50 シリーズとは？

ET-FMP50シリーズは、マルチプロジェクション演出をスムーズに実現するためのメディアプロセッサです。4K映像*1の入出力に加え、対応カメラ*2との連携でブレンド・黒レベル補正などの工程を自動化。投影エリアの指定もカーソル操作で行うことができ、プロのニーズに応えるキャリブレーションと直感的なUI操作を両立しました。設置・調整にかかるリソースを削減しつつ、これまでにない演出を、革新的なワークフローでお届けします。



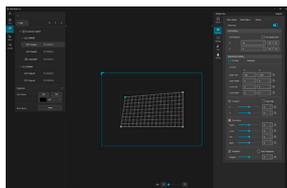
01 システムを簡素化できる 柔軟な製品設計

本体付近に設置できるボックス型とLANケーブル1本で接続可能なファンクションボード型をご用意。システム簡素化・コスト削減に貢献します。



02 ワークフローを革新する カメラ自動調整

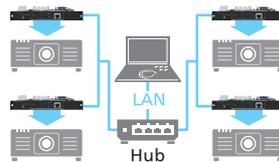
カメラ*2を用いた自動調整により、ブレンド・黒レベル補正などのキャリブレーションを自動化。追加ライセンスの購入も不要で、設置・調整ワークフローを大幅に効率化いただけます。



03 習得しやすい 直感的なUI画面

簡単操作なので覚えやすく、幾何学歪補正・ブレンドなどの調整がシンプルに。プレイリスト再生やスケジュール管理も容易で、追加ライセンスの購入もありません。

Panasonic



04 当社ならではの 一括サポート体制

当社プロジェクターとのシームレスな連携を実現。安心のパナソニックエコシステムで、トラブルからの迅速な復旧をサポートします。

*1 最大出力解像度は 3840 x 2160/60p x 1 (ET-FMP50/FMP20/SBFMP10) または 1920 x 1080/60p x 4 (ET-FMP50/FMP20) です。*2 対応カメラは株式会社ニコン製 D5200/D5300/D5500/D5600/D7500/Z50/Z5、IDS 製 GV-5890CP-C-HQ になります。カメラは別売です。詳しくは会員制サポートシステム「PASS」をご確認ください。

業務用プロジェクターの最新情報はホームページで

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector>

本カタログ掲載商品の価格には、配送・設備調整費、使用済み商品の引き取り費等は含まれておりません。

●設置写真はイメージです。●画像ははめ込み合成です。※オープン価格商品の価格は販売店にお問い合わせください。



ハードウェア

先進的な演出を、革新のワークフローで実現

コンパクトなボックス型とファンクションボード型の2タイプをご用意。ボックス型はプロジェクター付近に設置でき、1台あたり4 x HDMI™の信号出力に対応。ファンクションボード型は本体スロットに装着可能で、LANケーブル1本での機器接続を実現します。内蔵ストレージは4 TB*1までの大容量をご用意し、7680 x 1920/60p や 4096 x 4096/60p など最大1800万画素(長辺7680ピクセル以下)の信号入力解像度や300 Mbpsのビットレートに対応。HAPコーデック*2、NDI®、Dante®*3にも対応しています。複数プロセッサの映像をLAN経由でシームレスに同期できるほか、ピクセル単位の緻密な補正で画質への影響も最小限に。先進的な演出を、革新のワークフローで実現します。

*1 ET-FMP50のみ。ET-FMP20(512 GB)および ET-SBFMP10(512 GB)使用時は、総ストレージ容量のうち、システムデータが占める領域(約30 GB)は使用できません。*2 ET-FMP50のみ。HAP(HAP 1)、HAP Qに対応。詳細は仕様書をご確認ください。*3 HAP Qコンテンツには対応していません。*4 対応カメラは株式会社ニコン製 D5200/D5300/D5500/D5600/D7500/Z50/Z5、IDS 製 GV-5890CP-C-HQ になります。カメラは別売です。詳しくは会員制サポートシステム「PASS」をご確認ください。

仕様

機種	ET-FMP50	ET-FMP20	ET-SBFMP10
タイプ	ボックス型		ファンクションボード型
接続端子	LAN 端子: RJ-45 x 1 系統、ネットワーク接続用(10Base-T/100Base-TX、1000Base-T、NDI®、Dante®*1 [2チャネル] 対応)		
	HDMI™ 1/2/3/4 出力端子: HDMI™ x 4 系統、音声信号: リニア PCM、44.1 kHz/48 kHz、16 ビット、2 チャネル		
	音声出力端子: 3.5 mm ステレオミニジャック		
NDI® ストリーミング再生対応コンテンツ	画像圧縮方式: High Bandwidth NDI®、画像解像度 / フレームレート: 3840 x 2160/60p、3840 x 2160/50p、1920 x 1080/60p、1920 x 1080/50p、音声信号: リニア PCM、44.1 kHz/48 kHz、16 ビット、2 チャネル		
最大出力解像度	3840 x 2160/60p x 1 または 1920 x 1080/60p x 4*2		3840 x 2160/60p
映像フォーマット	HAP*3 / H.264、8 ビット、3840 x 2160 ドット、60p、YPbPr 4:2:0、300 Mbps / H.265、8 ビット、1800 万画素以内(長辺側 7680 以下)、60p (7680 x 1920/60p や 4096 x 4096/60p など)、YPbPr 4:2:0、300 Mbps		
音声フォーマット	AAC-LC、16 ビット、ステレオ		
容量	4 TB	512 GB*4	
オペレーティングシステム	Linux®		
使用電源	AC 100 V、50 Hz/60 Hz		
最大消費電力	64 W		
騒音	42 dB (最大)、33 dB (ノーマル)		
外形寸法(横幅 x 高さ x 奥行き)	約 210 x 44 x 295 mm (脚含まず)		約 195 x 25 x 123.2 mm
質量	約 2.0 kg (AC アダプターおよびコード類を含まず)		約 0.26 kg
環境条件	使用周囲温度: 0 ~ 40°C、使用周囲湿度: 10 ~ 80% (非結露)		

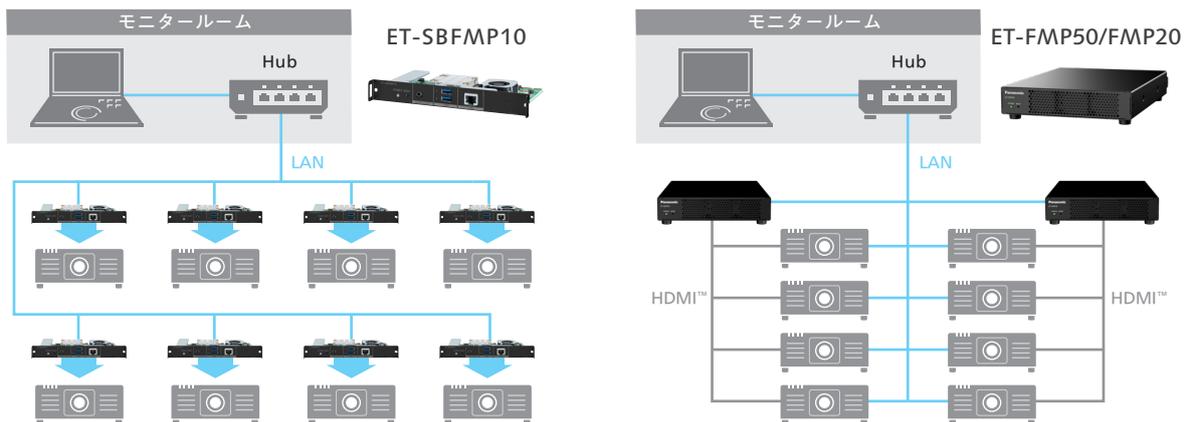
*1 HAP Q コンテンツには対応していません。*2 4 系統の HDMI™ 出力を同時使用時。*3 HAP(HAP 1)、HAP Q に対応。詳細は仕様書をご確認ください。*4 総ストレージ容量のうち、システムデータが占める領域(約 30 GB)は使用できません。*5 お使いのモデルの使用周囲温度に依存します。

ET-SBFMP10 対応プロジェクター

ET-SBFMP10 は、Intel® SDM 仕様スロットを搭載した次の当社製プロジェクターとともにお使いいただけます: PT-RQ25K シリーズ・PT-RZ14KJ・PT-REQ15 シリーズ・PT-REZ15 シリーズ・PT-RQ7 シリーズ
※本シリーズと他社製プロジェクターとの動作は保証しておりません。当社製品については順次対応予定です。

- アクセサリ
- ラックマウントキット (ET-FMP50/FMP20 x 2 台設置用) ET-PKFMJ2
 - ラックマウントキット (ET-FMP50/FMP20 x 1 台設置用) ET-PKFMJ1

システム構築例



パナソニック 業務用プロジェクターサポートセンター

パナソニック製プロジェクターの設定や操作でご不明な点がございましたら、電話かホームページでお気軽にお問い合わせください。

お電話はこちら



0120-872601

通話料
無料



Webで
お問い合わせ
はこちら

営業時間: 月~金(祝日と弊社休業日を除く) 9:00~17:30 (12:00~13:00は受付のみ) *お電話いただく際には、番号をお確かめのうえ、お間違えないようおかけください。

ご相談窓口における個人情報の取り扱いについて

パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社および関係会社(以下「当社」)は、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話をさせていただくために、ナンバーディスプレイを採用している場合があります。当社は、お客様の個人情報を、適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせはご相談された窓口にご連絡ください。

- 製品の色は印刷物ですので実際の色と若干異なる場合があります。●製品の仕様およびデザインは改善等のため予告なく変更する場合があります。
- 実際の製品には、ご使用上の注意を表示しているものがあります。

「Panasonic」はパナソニック ホールディングス株式会社の登録商標(※商標)であり、パナソニック ホールディングス株式会社からの許諾に基づき使用されています。

ソフトウェア

現場に強く、どなたでも使いやすく

新たな映像演出プラットフォーム「Visual Software Suite 2.0」に対応し、別売カメラ*4との連携で複雑なマルチスクリーン調整をスピーディに実現。カメラ視点の映像をパソコン上で確認しながら、最大300個のカーソルを動かして投影エリアを指定することで、コンテンツの切り出しやブレンド、黒レベル補正などの工程を自動化いただけます。曜日や時間ごとに演出が決まっている場合は、複数プレイリストによる自動スケジュール再生が便利。ドラッグ&ドロップでコンテンツを追加していけば、システム起動後、定刻ごとにオペレーションする手間がかかりません。投写コンテンツのプレビューやUDPコマンドによる外部機器からの再生制御に加え、将来的にはドーム型スクリーン/3Dオブジェクトへのマッピングにも対応予定です。

パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号

このカタログの内容についてのお問い合わせは、左記のサポートセンターにご相談ください。

このカタログの記載内容は2025年9月現在のものです。

FMP50J04